

2026年 1 月18日実施

令和 7 年度（第 74 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. RASISの示す評価指標の一つで、システムが安定して稼働し、故障が発生しにくいことを示す。平均故障間隔を指標として判断する。
2. ネットワークを介し、特定のコンピュータ間でファイルを転送するためのプロトコル。Webサーバへのファイルのアップロードやダウンロードなどに使われる。
3. データベースにおいてデータの整合性を保つために用いる排他制御の一つで、他のトランザクションではデータの参照が可能だが、更新や削除ができない。
4. TCP/IPを利用して音声通話をするための技術。音声をデジタルデータに変換、パケット化して送信し、受信時に再変換して音声通話を実現する。
5. システム開発の手法の一つで、全体をいくつかの工程に分割して上流の工程から順次開発を進め、それぞれの工程が完了後は、原則として前の工程に戻らない手法。

解答群

ア. 信頼性	イ. DMZ	ウ. VoIP
エ. ERP	オ. プロトタイピングモデル	カ. 保守性
キ. 専有ロック	ク. FTP	ケ. ウォータフォールモデル
コ. VPN	サ. MIME	シ. 共有ロック

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. 内部設計 2. ブラックボックステスト 3. チェックポイント
4. 公開鍵暗号方式 5. レスポンスタイム

<B群>

- ア. システムに処理要求をしてからすべての実行結果を受信するまでの時間のことで、処理の開始と終了が明確な場合に参考となる性能要件。
- イ. システム開発において、クライアントやユーザの要望を受けて操作画面や帳票を設計した後に、入出力のためのデータの処理方法やプログラムで処理する内容を設計する工程。
- ウ. プログラムの内部構造に着目し、使用する命令や処理の流れなどが設計どおりに動作しているかを確認するテスト。
- エ. データベースにおいて、データの追加や変更をディスクに書き込む処理を行ったタイミングのことで、一定の間隔で設定される。
- オ. 暗号化してデータを送受信する際、暗号化と復号にそれぞれ異なる鍵を使用する暗号方式で、この方式を用いてn人が相互に通信する場合、必要な鍵データの数の計算方法は $2n$ である。
- カ. 入力データから出力された結果のみに着目し、仕様書どおりの出力結果が得られるかを確認するテスト。
- キ. システム開発において、クライアントやユーザが必要としている事項をまとめた内容をもとに、操作画面や帳票など、目に触れる部分の仕様を設計する工程。
- ク. データベースにおいて、データの更新や削除を行う際に、整合性を確保するため分けることができない処理を一つにまとめた処理単位。
- ケ. 暗号化してデータを送受信する際、暗号化と復号に同一の鍵を使用する暗号方式で、この方式を用いてn人が相互に通信する場合、必要な鍵データの数の計算方法は、 $n(n-1)/2$ である。
- コ. システムに処理要求を送信してから最初の応答が返ってくるまでの時間のことで、遅延、待ち時間など応答速度の参考となる性能要件。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 情報セキュリティにおいて、サーバの一時的な停止やソフトウェアの機能不全、外部からの不正なアクセスなど、サービスの中断や運用を妨げる可能性がある事象やできごと。

ア. インシデント

イ. シンククライアント

ウ. スループット

2. 集団で意見を出し合い、アイデアを生み出すことを目的とした発想法。「批判禁止」、「自由奔放」、「質より量」、「便乗歓迎」という四つのルールがある。

ア. SWOT分析

イ. KJ法

ウ. ブレーンストーミング

3. 機械やシステムは「故障する」という考え方のもと、問題や事故が発生しても、全体の機能を維持して稼働し続けるように制御する設計手法。

ア. フォールトトレラント

イ. フォールトアボイダンス

ウ. リスクマネジメント

4. 解像度 $3,000 \times 2,000$ ピクセル、1ピクセルあたり32ビットの色情報を持つ画像を60%に圧縮し、DVD1枚に保存する場合、画像は最大何枚保存できるか。なお、DVDの記憶容量は、4.7GBとする。ただし、 $1\text{GB} = 10^9\text{B}$ とする。

ア. 325

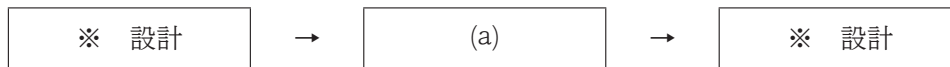
イ. 326

ウ. 327

5. 通信速度が1,024Mbpsの通信回線を用いて、512MBのファイルをダウンロードするためにかかった時間は5秒であった。この通信回線の伝送効率は何%か求めなさい。なお、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、 $1\text{MB} = 10^6\text{B}$ とする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

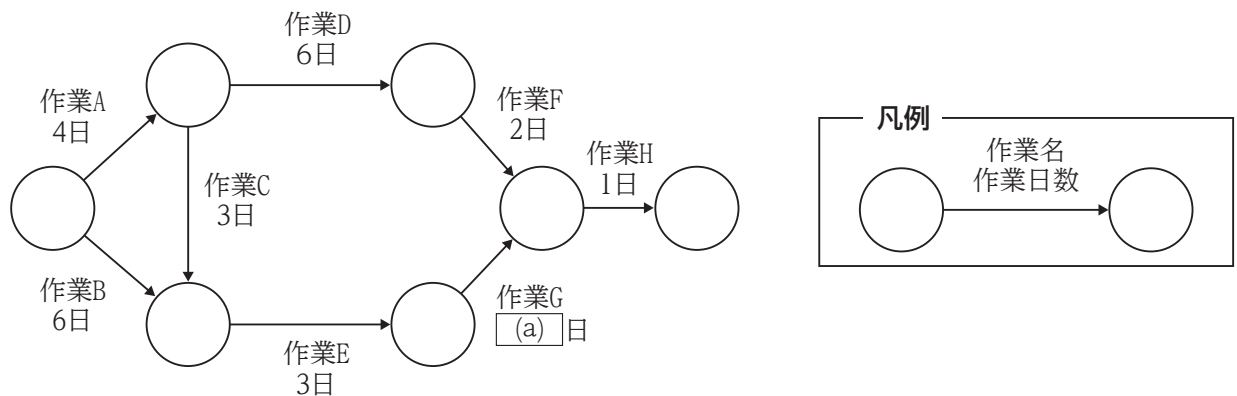
問1. 次の図は、データベースの設計手順を示している。名称と説明の組み合わせとして空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

- ア. 名称：概念設計 説明：要件定義を行い、エンティティを抽出して、E-R図を作成する。
 イ. 名称：概念設計 説明：冗長なデータを取り除き、整合性を保つために正規化を行う。
 ウ. 名称：論理設計 説明：冗長なデータを取り除き、整合性を保つために正規化を行う。
 エ. 名称：論理設計 説明：作業や入力データを想定して必要なハードウェアなどの環境を整える。

問2. 次の図は、あるプロジェクトにおけるアローダイアグラムである。このプロジェクトが完了するまでの最短の所要日数が14日の場合、作業Gの日数として空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

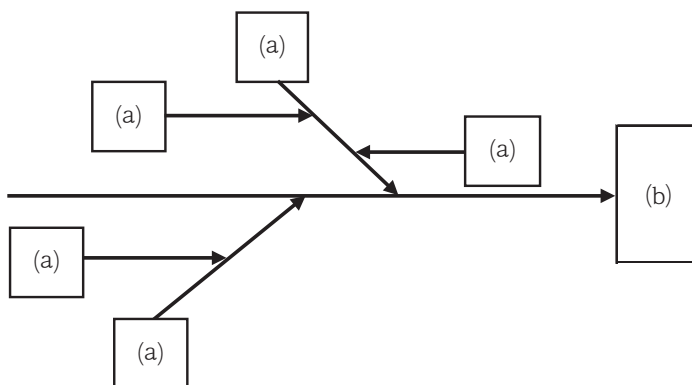


ア. 3

イ. 4

ウ. 5

問3. 次の特性要因図の空欄(a), (b)にあてはまる組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。



ア. (a) 結果 (b) 特性

イ. (a) 要因 (b) 特性

ウ. (a) 特性 (b) 要因

問4. PPM分析において、市場成長率と市場占有率から見たとき、空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 負け犬
- イ. 問題児
- ウ. 花形
- エ. 金のなる木

市場成長率	高 ↑	※	※
	↓ 低	※	(a)
		低 ←	→ 高 市場占有率

(注) ※印は、表記を省略している。

問5. PaaSを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 完成されたソフトウェアをユーザに提供するサービス。ソフトウェアをユーザのサーバで運用するのではなく、インターネットにアクセスして利用する。ユーザは、自前でサーバを設置することがないなどのメリットから、導入費用を抑えることができる。
- イ. プログラム開発のためのソフトウェアやネットワークをユーザに提供するサービス。ユーザは、環境の整備に時間をかけることなく業務に適したソフトウェアを開発して利用できる。ただし、用意された環境でのみ開発することから、開発の自由度は低い。
- ウ. 仮想サーバなどのインフラをユーザに提供するサービス。ユーザは、インフラの管理やソフトウェアの開発に高度な知識、技術が要求されるが、その分、開発の自由度が高い。

- 【5】 ある自動販売機会社では、飲み物の売上データを、次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 売上表は、飲み物が一本売れるごとに1レコードが作成され、売上番号は連番が付与される。
 ② 天候表は一日1レコード作成される。

商品一覧表

商品コード	商品名	販売単価	分類コード
CAN001	野菜	110	B002
CAN002	ブラックコーヒー	110	B004
}	}	}	}
CAN008	かぼちゃスープ	130	B009
PET001	レモンスカッシュ	140	B001
}	}	}	}
PET005	緑茶	140	B003
PET006	紅茶	140	B003
PET007	レモンティー	150	B003
}	}	}	}
PET012	ヨーグルトイチゴ	140	B010

分類表

分類コード	分類名
B001	炭酸飲料
B002	果汁・野菜飲料
B003	茶系飲料
B004	コーヒー飲料
B005	ミネラルウォーター
B006	スポーツ飲料
B007	栄養ドリンク
B008	エナジードリンク
B009	スープ
B010	乳性飲料

売上表

売上番号	日付	商品コード
1	2025/10/01	PET001
}	}	}
319	2025/11/15	PET011
320	2025/11/16	CAN007
}	}	}
578	2025/12/19	PET012
579	2025/12/20	CAN003
}	}	}
651	2025/12/31	PET012
}	}	}

天候表

日付	天気	平均気温	最高気温	最低気温
2025/10/01	曇	23.3	26.6	20.1
}	}	}	}	}
2025/11/12	晴	16.3	21.3	11.8
2025/11/13	晴	16.5	20.8	12.6
2025/11/14	曇	15.8	18.2	11.9
2025/11/15	雨	15.9	17.7	13.8
}	}	}	}	}
2025/12/30	曇	6.2	10.3	3.5
2025/12/31	晴	8.0	14.6	2.8
}	}	}	}	}

- 問1. 次の図は、四つの表のリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

ア. 売上表

イ. 天候表

ウ. 商品一覧表

問2. 2025年11月12日の天気を 晴 から 曇 へ更新する。次のSQL文の空欄(a)~(c)にあてはまる組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

UPDATE (a) SET (b) WHERE (c)

- ア. (a) 天気 = '曇' (b) 天候表 (c) 日付 = '2025/11/12'
 イ. (a) 天候表 (b) 天気 = '曇' (c) 日付 = '2025/11/12'
 ウ. (a) 天候表 (b) 日付 = '2025/11/12' (c) 天気 = '曇'

問3. 2025年11月1日から2025年11月30日において、飲み物ごとの販売金額が、3,000円以上の商品コード、商品名、販売金額を抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

SELECT A.商品コード, 商品名, COUNT(*) * 販売単価 AS 販売金額
 FROM 商品一覧表 A, 売上表 B
 WHERE A.商品コード = B.商品コード
 AND 日付 BETWEEN '2025/11/01' AND '2025/11/30'
 GROUP BY A.商品コード, 商品名, 販売単価
 COUNT(*) * 販売単価 >= 3000

商品コード	商品名	販売金額
PET005	緑茶	4060
PET009	自然の水	3410

問4. 2025年12月15日から2025年12月21日において、天気が 晴 または 曇 , かつ平均気温が10.0度以下のデータを対象に分類コードごとに販売本数を求め、販売本数の降順に分類コード、分類名、販売本数を抽出する。次のSQL文の空欄(a)~(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

分類コード	分類名	販売本数
B003	茶系飲料	13
B005	ミネラルウォーター	7
B009	スープ	6
}	}	}

SELECT B.分類コード, 分類名, COUNT(*) AS 販売本数
 FROM 商品一覧表 A, 分類表 B, 売上表 C, 天候表 D
 WHERE A.商品コード = C.商品コード
 AND A.分類コード = B.分類コード
 AND C.日付 = D.日付
 AND C.日付 BETWEEN '2025/12/15' AND '2025/12/21'
 AND (天気 = '晴' (a) 天気 = '曇') (b) 平均気温 <= 10.0
 GROUP BY B.分類コード, 分類名
 ORDER BY COUNT(*) (c)

- ア. AND イ. OR ウ. ASC エ. DESC

問5. 2025年12月22日から2025年12月28日において、一本も販売されていない飲み物の商品コード、商品名、販売単価を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

SELECT 商品コード, 商品名, 販売単価
 FROM 商品一覧表 A
 WHERE (SELECT *

商品コード	商品名	販売単価
CAN001	野菜	110
PET002	メロンスカッシュ	140

FROM 売上表 B
 WHERE A.商品コード = B.商品コード
 AND 日付 BETWEEN '2025/12/22' AND '2025/12/28')

- ア. NOT IN イ. EXISTS ウ. NOT EXISTS

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるプログラム処理のテストのために、2026年の日付を無作為に抽出した表である。B4に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、この式をB13までコピーする。なお、2026年は平年であり、「抽出日付」の重複は問わない。

=DATE(2026,1,1)+RANDBETWEEN(□,364)

A	B
1	
2	2026年の抽出日付
3	No. 抽出日付
4	1 2026/10/4
5	2 2026/9/25
6	3 2026/4/10
7	4 2026/10/4
8	5 2026/10/29
9	6 2026/4/10
10	7 2026/4/9
11	8 2026/12/17
12	9 2026/8/22
13	10 2026/11/17

問2. 次の表は、ある果樹園のミカン収穫一覧表である。8kg入りの箱に、収穫したミカンを詰めて出荷している。なお、箱に入りきらなかったミカンは翌日に繰り越している。D4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. =CEILING(B4+C4,8)/8

イ. =ROUND((B4+C4)/8,0)

ウ. =FLOOR(B4+C4,8)/8

A	B	C	D
1			
2	ミカン収穫一覧表		
3	収穫日	収穫(kg)	前日からの繰り越し(kg)
4	2025/11/1	87	0
5	2025/11/2	88	7
6	2025/11/3	85	7
7	2025/11/4	96	4
8	2025/11/5	95	4
9	2025/11/6	96	3
10	}	}	}

問3. 次の表は、あるボウリング大会団体戦のスコア一覧表である。G5に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をJ5までコピーする。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1									
2	スコア一覧表				チーム別集計				
3	No.	チーム	名前	スコア		チーム	チーム	チーム	チーム
4	1	Aチーム	佐藤 ○○	168		Aチーム	Bチーム	Cチーム	Dチーム
5	2	Aチーム	鈴木 ○○	100	最高スコア	174	108	190	158
6	3	Aチーム	高橋 ○○	174	平均スコア	147.3	103.0	151.3	132.0
7	4	Bチーム	田中 ○○	99					
8	5	Bチーム	伊藤 ○○	102					
9	6	Bチーム	渡辺 ○○	108					
10	7	Cチーム	中村 ○○	190					
11	8	Cチーム	小林 ○○	136					
12	9	Cチーム	加藤 ○○	128					
13	10	Dチーム	吉田 ○○	89					
14	11	Dチーム	山口 ○○	158					
15	12	Dチーム	松本 ○○	149					

ア. =DMAX(\$A\$3:\$D\$15,"スコア",G3:G4)

イ. =DMAX(\$A\$4:\$D\$15,4,G3:G4)

ウ. =DMAX(\$A\$3:\$D\$15,4,\$G3:\$G4)

問4. 次の表は、ある店舗の来店者数一覧表である。「開始日」から「終了日」の来店者数を集計して「来店者数計」に表示する。E5に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2	来店者数一覧表		集計表		
3	日付	来店者数	開始日	2026/1/1	
4	2023/4/1	294	終了日	2026/1/3	
5	2023/4/2	301	来店者数計	933	
6	}	}			
1010	2026/1/1	337			
1011	2026/1/2	284			
1012	2026/1/3	312			
1013	2026/1/4	275			
1014	}	}			

=SUM(OFFSET(B3,MATCH(E3,A:A,0)-3,0, ,1))

ア. E4-E3-1

イ. E4-E3

ウ. E4-E3+1

問5. 次の表は、ある洋菓子店の生産シミュレーションである。次の条件から「利益」の合計が最大となる商品の「生産数」を求めたい。表計算ソフトウェアのデータ分析機能に設定する空欄(a),(b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

条件

- ・B13には次の式を入力し、E14までコピーする。
=B4*\$F13
- ・B15には次の式を入力し、F15までコピーする。
=B13+B14
- ・「小麦粉」、「砂糖」、「バター」の「合計」は、それぞれの「在庫量(g)」を超えない。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	1個あたりの材料(g)と利益					
3	商品	小麦粉	砂糖	バター	利益	
4	クッキー	15	6	7	30	
5	マフィン	40	15	15	70	
6						
7		在庫量(g)				
8		小麦粉	砂糖	バター		
9		20,000	10,000	8,000		
10						
11	生産シミュレーション					
12	商品	小麦粉	砂糖	バター	利益	生産数
13	クッキー	0	0	0	0	0
14	マフィン	0	0	0	0	0
15	合計	0	0	0	0	0

実行結果

	A	B	C	D	E	F
1						
11	生産シミュレーション					
12	商品	小麦粉	砂糖	バター	利益	生産数
13	クッキー	5,475	2,190	2,555	10,950	365
14	マフィン	14,520	5,445	5,445	25,410	363
15	合計	19,995	7,635	8,000	36,360	728

ア. (a) \$E\$15

(b) \$E\$13:\$E\$14

イ. (a) \$E\$15

(b) \$F\$13:\$F\$14

ウ. (a) \$F\$15

(b) \$F\$13:\$F\$14

パラメータ設定

目的セルの設定：

(a)

目標値：

☒ 最大値
☐ 最小値
☐ 指定値

変数セルの変更

(b)

制約条件の対象

\$B\$15<=\$B\$9
\$C\$15<=\$C\$9
\$D\$15<=\$D\$9
\$F\$13:\$F\$14=整数

追加
変更
削除

解決

閉じる

【7】 次の表は、あるレンタカー会社における料金見積計算表である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「料金見積計算表」

A	B	C	D	E	F	G
1	料金見積計算表					
2						
3						
4					受 付 日	2026/1/18
5	1. 受付内容					
6	入力欄			確認欄		
7	利 用 開 始 日	2026/3/1	早割A			
8	利 用 開 始 時 刻	23	OK			
9						
10	返 却 日	2026/3/3	利 用 日 数	1		
11	返 却 時 刻	8	利 用 時 間	9		
12						
13	出 発 営 業 所	盛岡	岩手			
14	返 却 営 業 所	仙台	宮城			
15						
16	ク ラ ス コ ー ド	H	OK			
17						
18					重複チェック	
19	オ プ シ ョ ン コ ー ド	TDS	重複なし			
20					オプション名 料金	
21					タイヤチェーン	900
22					4WD	1,650
23					チャイルドシート	1,200
24						
25						
26	ク ー ポ ン 利 用	1	(1:利用あり 0:利用なし)		1,000	
27						
28	2. 料金計算					
29	利 用 日 数 料 金	17,820				
30	利 用 時 間 料 金	11,800				
31	オ プ シ ョ ン 料 金 計	3,750				
32	乗 り 捨 て 料 金	2,500				
33	ク ー ポ ン 利 用 割 引	1,000				
34	見 積 料 金	34,870				

シート名「クラス別料金表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2	Cクラス料金表					
3	種別\時間	6未満	～12未満	～18未満	～24未満	1日
4	基本料金	5,500	6,200	6,700	7,120	8,140
5	早割A	5,000	5,600	6,000	6,650	7,320
6	早割B	4,500	4,800	5,100	5,500	6,860
7						
8	Hクラス料金表					
9	種別\時間	6未満	～12未満	～18未満	～24未満	1日
10	基本料金	12,500	13,200	14,850	16,560	19,800
11	早割A	10,800	11,800	13,360	15,900	17,820
12	早割B	8,900	9,800	11,500	13,450	15,700
13						
14	Wクラス料金表					
15	種別\時間	6未満	～12未満	～18未満	～24未満	1日
16	基本料金	7,500	8,500	9,900	10,900	12,210
17	早割A	7,200	7,700	8,910	9,910	10,980
18	早割B	6,400	6,900	7,930	8,930	9,980
19						
20	Eクラス料金表					
21	種別\時間	6未満	～12未満	～18未満	～24未満	1日
22	基本料金	7,000	7,700	8,800	9,700	10,670
23	早割A	6,400	6,900	7,920	8,400	9,600
24	早割B	5,000	6,000	6,800	7,720	8,560

シート名「クーポン適用月表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2	クーポン適用月表												
3	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4	割引	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×

シート名「オプション表」

A	B	C
1	オプション表	
2	オプションコード	オプション名 料金
3	S	チャイルドシート 1,200
4	D	4WD 1,650
5	T	タイヤチェーン 900
6	K	スキーキャリア 1,100

シート名「営業所表」

A	B
1	営業所表
2	営業所名 県名
3	青森 青森
4	弘前 青森
5	八戸 青森
6	盛岡 岩手
7	花巻 岩手
8	一関 岩手
9	仙台 宮城
10	松島 宮城
11	秋田 秋田
12	大曲 秋田
13	山形 山形
14	米沢 山形
15	福島 福島
16	郡山 福島

作成条件

1. シート名「料金見積計算表」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、見積料金を求めることができる。
なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が 空欄 または NG の場合、それ以降の項目は、表示しない。
3. シート名「クラス別料金表」の「種別」は、次の表のとおりとする。

表	種別	受付日から利用開始日までの日数
	基本料金	0～30日
	早割A	31日～60日
	早割B	61日～120日

4. 「利用日数」と「利用時間」は、次の例のように計算する。また、「利用開始時刻」と「返却時刻」は0以上かつ23以下の整数を入力する。なお、分は入力しない。

例	利用開始日	利用開始時刻	返却日	返却時刻	利用日数	利用時間
	2026/1/20	10	2026/1/20	12	0	2
	2026/1/20	10	2026/1/21	12	1	2
	2026/1/20	11	2026/1/21	9	0	22

5. 「クラスコード」はシート名「クラス別料金表」を参照するためのコードである。C は「Cクラス料金表」、H は「Hクラス料金表」、W は「Wクラス料金表」、E は「Eクラス料金表」を参照する。また、シート名「クラス別料金表」は、それぞれ「種別」と「時間」により 料金 が設定されている。
6. 「オプションコード」は4種類あり、必要なオプションを4つまで指定できる。入力順序は問わない。利用がない場合は入力不要であり、その場合、「オプション名」の確認欄は何も表示しない。また、4文字を超えて入力された場合や、存在しない「オプションコード」が入力された場合も、「オプション名」の確認欄は何も表示しない。

作成手順

1. シート名「料金見積計算表」は、次のように作成されている。
 - (1) F4は、本日の日付を自動表示するための関数が入力されている。
 - (2) C7は、「利用開始日」を入力する。また、F7は、「利用開始日」が「受付日」以降の場合、作成条件3にしたがって、受付日から利用開始日までの日数を計算し「種別」を表示する。なお、「利用開始日」が「受付日」より前の場合、または利用開始までの日数が、121日以上の場合、NG を表示する。
 - (3) C8は、「利用開始時刻」を入力する。また、F8は、C8に入力された値が0以上かつ23以下の整数であれば OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (4) C10は、「返却日」を入力する。また、F10は、作成条件4にしたがって利用日数を計算し、表示する。
 - (5) C11は、「返却時刻」を入力する。また、F11は、作成条件4にしたがって利用時間を計算し、表示する。
 - (6) C13は、「出発営業所」、C14は「返却営業所」を入力する。また、F13は、C13をもとに、シート名「営業所表」を参照して「県名」を表示し、入力された営業所が「営業所名」にない場合、NG を表示する。また、F14も同様に表示する。
 - (7) C16は、「クラスコード」を入力する。また、F16は、C16に入力された値が、C、H、W、E の場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (8) C19は、「オプションコード」を作成条件6にしたがって入力する。F19は「オプションコード」が重複して入力された場合、重複 を、重複がない場合、重複なし を表示する。また、F21～F24は、F19が 重複なし の場合、C19に入力された「オプションコード」から、行番号を利用して抽出した「オプションコード」をもとに、シート名「オプション表」を参照し、「オプション名」を表示する。
 - (9) G21～G24は、C19に入力された「オプションコード」をもとに、作成手順(8)と同様にシート名「オプション表」を参照し、「料金」を表示する。
 - (10) C26は、利用ありの場合、1 を入力し、利用なしの場合、0 を入力する。また、F26は、C26が、1 の場合、C7をもとにシート名「クーポン適用月表」を参照し、「割引」が ◎ の場合、1000 を表示する。C26が、0 または「割引」が、× の場合、0 を表示する。
 - (11) C29は、作成条件5にしたがってシート名「クラス別料金表」の該当するクラスコードの料金表の「1日」を参照した値に、F10の値を掛けて求める。
 - (12) C30は、作成条件5にしたがってシート名「クラス別料金表」の該当するクラスコードの料金表を参照した値を表示する。
 - (13) C31は、G21～G24の値を合計し、求める。
 - (14) C32は、F13とF14が異なる場合、2500 を、F13とF14が同じで、かつC13とC14が異なる場合、1500 を表示し、それ以外の場合、0 を表示する。
 - (15) C33は、F26を表示する。
 - (16) C34は、C29～C32の計から、C33を引いて求める。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしています。」

問1. シート名「料金見積計算表」のF7に設定する式として適切なものはどれか。記号で答えなさい。

- ア.=IF(C7="", "", IF(C7>=F4, IF(C7-F4>120, "NG", IF(C7-F4>59, "早割B", IF(C7-F4>29, "早割A", "基本料金"))), "NG"))
 イ.=IF(C7="", "", IF(C7>=F4, IF(C7-F4>120, "NG", IF(C7-F4>=60, "早割B", IF(C7-F4>=30, "早割A", "基本料金"))), "NG"))
 ウ.=IF(C7="", "", IF(F4<=C7, IF(C7-F4>120, "NG", IF(C7-F4>60, "早割B", IF(C7-F4>30, "早割A", "基本料金"))), "NG"))

問2. シート名「料金見積計算表」のF21に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をF24までコピーする。

=IF(OR(\$C\$19="", \$F\$19="重複"), "", IF(LEN(\$C\$19)<=4,
 IFERROR(VLOOKUP(MID(\$C\$19, (a)-20, (b)), オプション表!\$A\$4:\$C\$7, 2, FALSE), ""), ""))

- ア. (a) ROW() (b) 1 イ. (a) 19 (b) 2 ウ. (a) COLUMN() (b) 1

問3. シート名「料金見積計算表」のF26に設定する次の式の空欄をうめなさい。

=IF(C26="", "", IF(C26=1, IF(HLOOKUP(() (C7), クーポン適用月表!B3:M4, 2)="◎", 1000, 0), 0))

問4. シート名「料金見積計算表」のC30に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、空欄には同じものが入る。

=IF(C29="", "", IF(F11="NG", 0, INDEX((クラス別料金表!B4:E6, クラス別料金表!B10:E12, クラス別料金表!B16:E18,
 クラス別料金表!B22:E24), MATCH(F7, クラス別料金表!A4:A6, 0), INT(F11/6)+1,
 VALUE(() (() (() (() (C16, "C", 1), "H", 2), "W", 3), "E", 4))))))

問5. シート名「料金見積計算表」が次のように表示されているとき、C34に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和8年1月18日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和7年度(第74回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					%

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4			問5
				(a)	(b)	(c)	

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和8年1月18日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和7年度(第74回)情報処理検定試験ビジネス情報 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	ア	ク	シ	ウ	ケ

【2】	1	2	3	4	5
	イ	カ	エ	オ	コ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	ア	イ	80 %

各2点
15問

小計

30

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	ア	イ	エ	イ

【5】	問1	問2	問3	問4			問5
				(a)	(b)	(c)	
	ウ	イ	HAVING	イ	ア	エ	ウ

各3点
10問

小計

30

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	0	ウ	ア	ウ	イ

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	ア	MONTH	SUBSTITUTE	23,620

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
 ※ 記述問題の大文字、小文字、コンマの有無は問わない。

各4点
10問

小計

40

得点合計

100